

2025年3月期 第2四半期（中間期）

決算説明資料

2024年11月8日

日特建設株式会社

©2024 NITTOC Co.,Ltd.

Message

見えないところにこそ、私たちのプライドがある

社是

私たちは、見えないところにこそ、
誠実に技術を提供して、社会から必要とされる
企業であり続ける

経営理念

Mission

- 使命

安全・安心な国土造りに
貢献する会社

Value

- 価値観

基礎工事における総合技術力と
効率的な経営

Vision

- あるべき姿

信頼される技術力に培われた、
環境・防災工事を主力とした
基礎工事のエキスパート

1	連結 業績サマリー	P4～5
2	連結 四半期推移	P6～7
3	連結 工種別推移	P8～10
4	連結 貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書	P11
5	連結 業績予想	P12
6	トピックス	P13～15
7	イベントのお知らせ	P16

1-①.連結業績数値 サマリー (単位：百万円)



◆ 受注高：前期比101%、前々期比95%

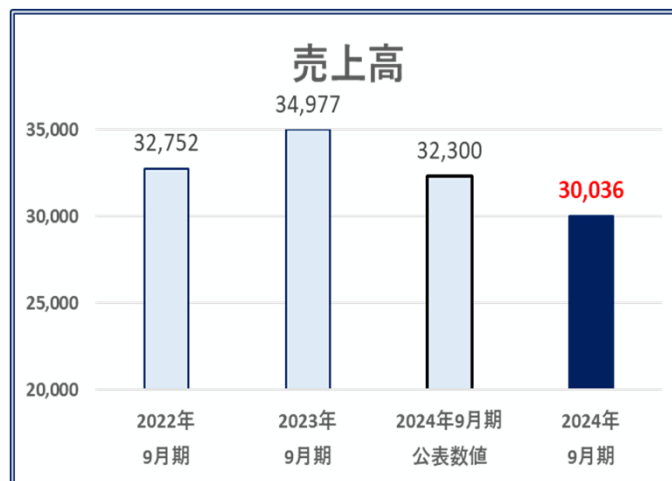
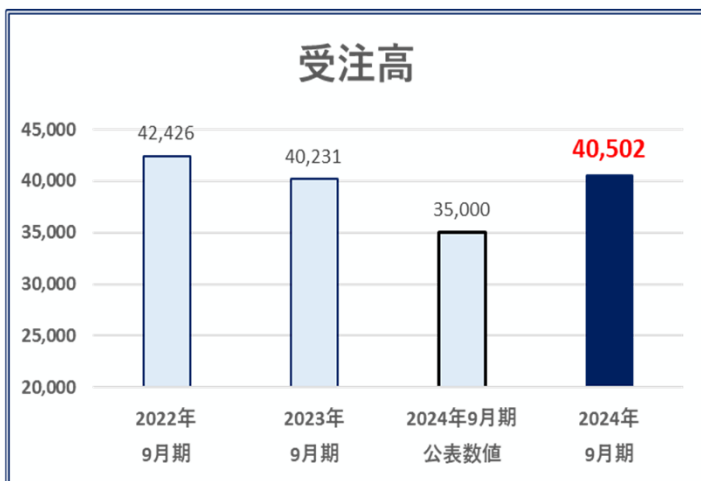
大型の法面工事や能登半島地震の災害復旧工事等の受注により、前期比101%。

◆ 売上高：前期比86%、前々期比92%

中間期に寄与する手持ち工事が少なかった影響で、前期比86%。

◆ 営業利益：前期比29%、前々期比22%

売上高が前期比で減少し、社員給与の増加やシステム刷新費用など販売費および一般管理費が増加したため、前期比29%。



1-②.連結業績数値 サマリー (単位：百万円)



連結	2022年 9月期	2023年 9月期	公表数値	2024年 9月期	対前年		対公表	
					差異	%	差異	%
受注高	42,426	40,231	35,000	40,502	271	101%	5,502	116%
売上高	32,752	34,977	32,300	30,036	△ 4,941	86%	△ 2,264	93%
完成工事総利益	6,148	5,828	5,650	4,936	△ 892	85%	△ 714	87%
販売費及び一般管理費	4,081	4,261	4,150	4,483	222	105%	333	108%
営業利益	2,067	1,566	1,500	453	△ 1,113	29%	△ 1,047	30%
経常利益	2,137	1,630	1,500	482	△ 1,148	30%	△ 1,018	32%
親会社株主に帰属する四半期 中間純利益	1,349	1,100	1,100	235	△ 865	21%	△ 865	21%

2-①.連結 四半期推移（単位：百万円）

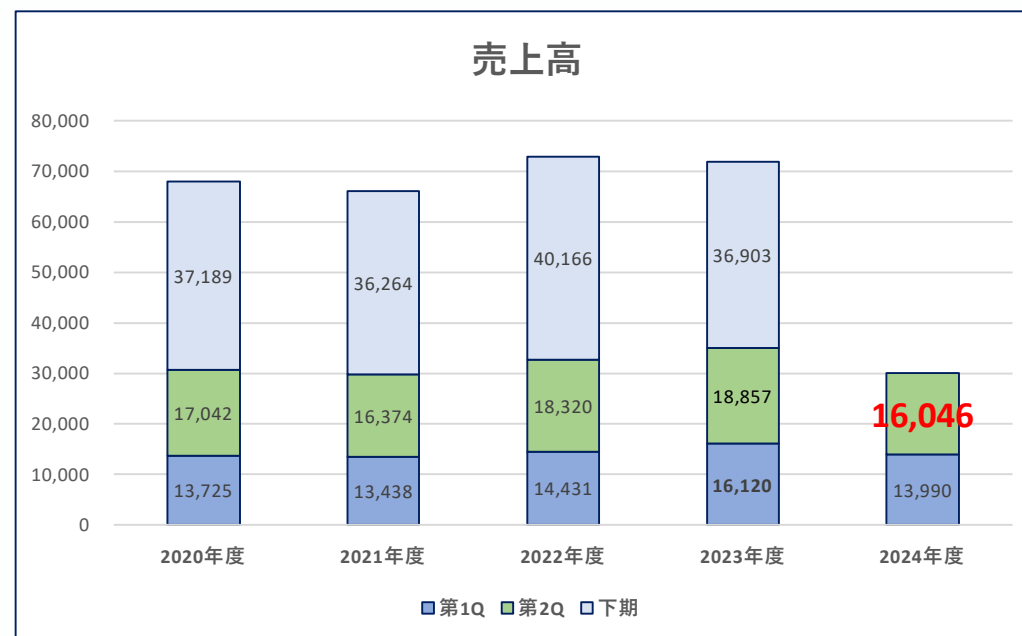
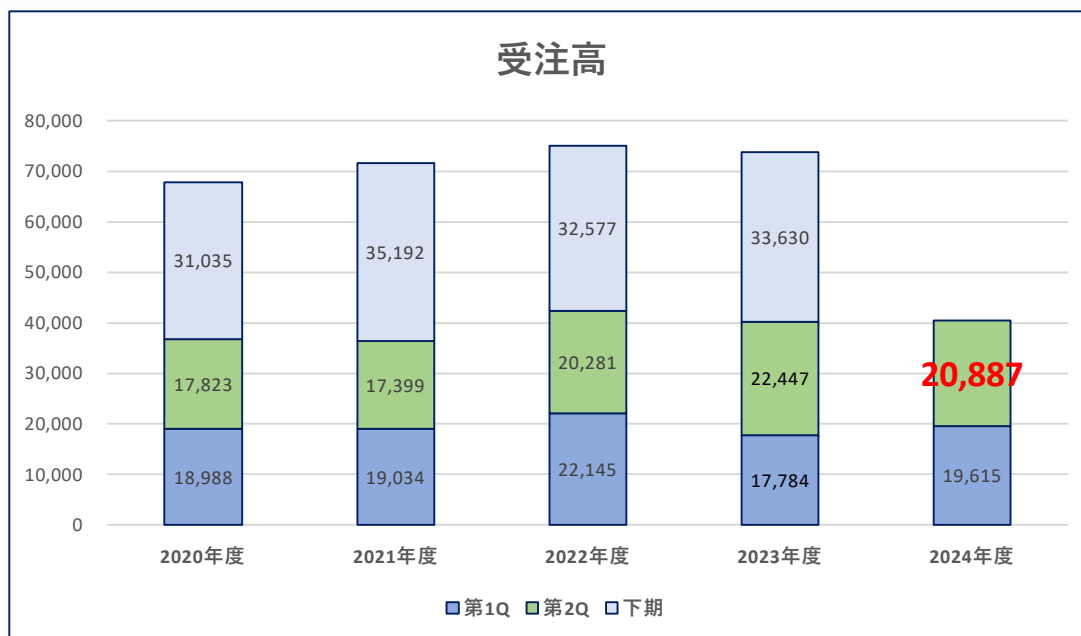


受注高：第2四半期期間（7-9月）**209億円**（前期比**93%**）**16億円**の減。

前年同期に大型の受注があった基礎・地盤改良工事やシールド工事の減少により、全体で前期比93%。

売上高：第2四半期期間（7-9月）**160億円**（前期比**85%**）**28億円**の減。

当期に寄与する手持ち工事が少なかったため、前期比85%。



2-②.連結 四半期推移（単位：百万円）

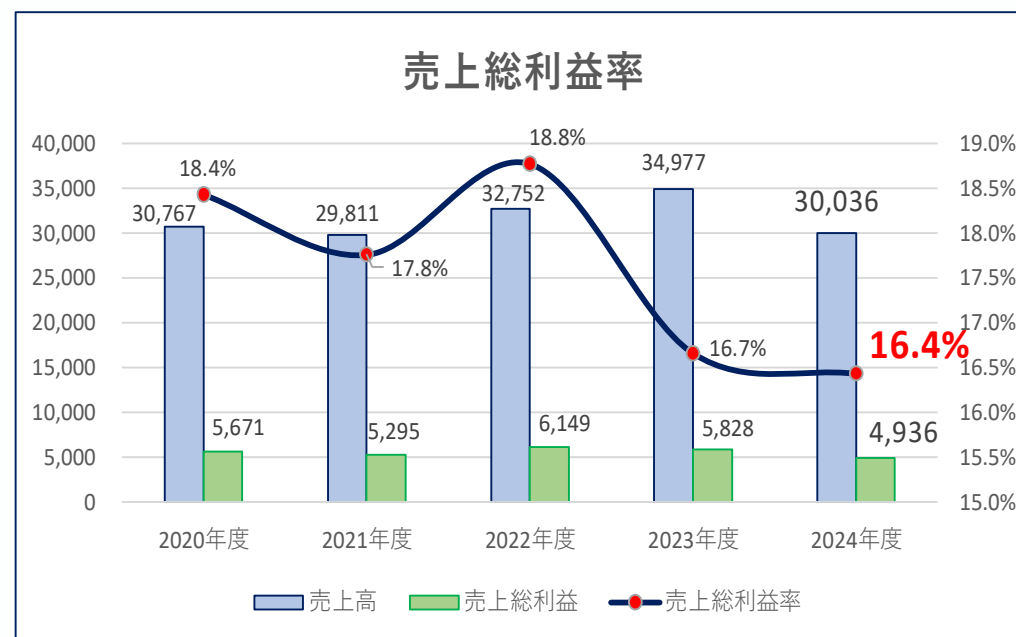
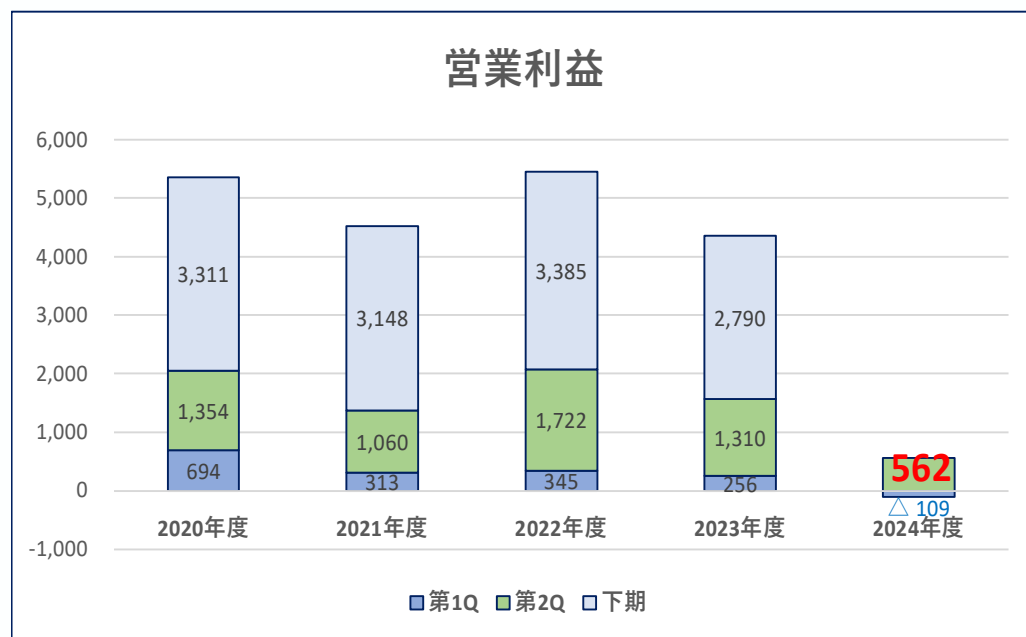


営業利益：第2四半期期間（7-9月）**6億円**（前期比**43%**）7億円の減。

当四半期に寄与する手持ち工事が少なく、社員給与の増加やシステム刷新費用などで、販売費および一般管理費が増加したことにより、前期比43%。

売上総利益率：第2四半期期間（7-9月）**16.4%**（前期比**0.3%**低下）

前年同期にあった不採算工事は抑制できたものの、前期には高収益の大型工事があったため、売上総利益率は、16.4%と前期比微減。



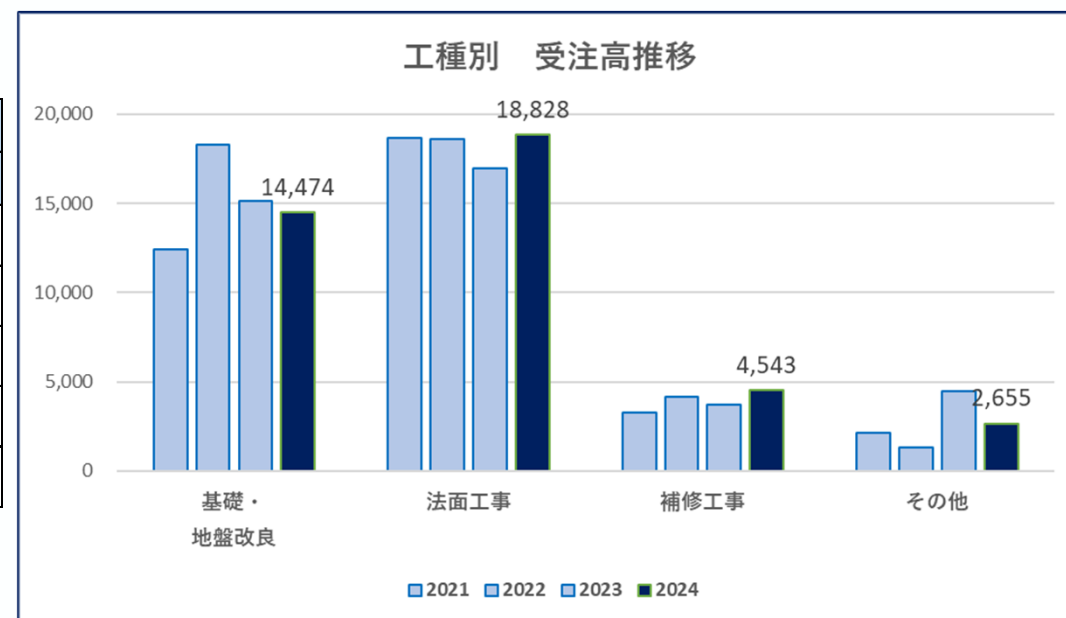
3-①.連結 工種別受注高（単位：百万円）



基礎・地盤改良工事：145億円（前期比96%） 法面工事：188億円（前期比111%）

基礎・地盤改良工事は前期に大型工事の受注があったため、前期比4%減少、法面工事は、大型工事、能登半島地震の災害復旧・復興工事の受注により、前期比11%増となり、全体では、前期比0.7%増。

受注高 (連結第2四半期)	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	対前期	
					増減	%
基礎・地盤改良工事	12,398	18,285	15,125	14,474	△ 650	95.7%
法面工事	18,649	18,616	16,955	18,828	1,873	111.0%
補修工事	3,260	4,179	3,691	4,543	857	123.1%
その他	2,123	1,345	4,457	2,655	△ 1,802	59.6%
合計	36,430	42,426	40,231	40,502	271	100.7%



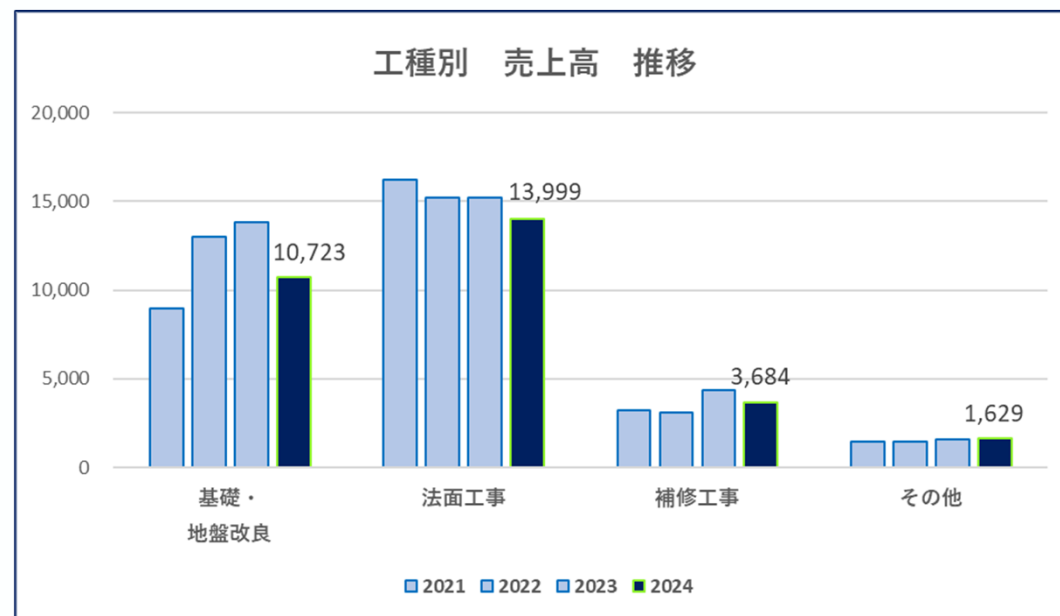
3-②.連結 工種別売上高（単位：百万円）



基礎・地盤改良工事：107億円（前期比78%） 法面工事：140億円（前期比92%）

地盤改良工事、法面工事ともに、当中間連結会計期間に寄与する手持ち工事が少なかった影響で、前期比85.9%。

売上高 (連結第2四半期)	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	対前期	
					増減	%
基礎・地盤改良工事	8,948	13,006	13,843	10,723	△ 3,119	77.5%
法面工事	16,214	15,200	15,186	13,999	△ 1,187	92.2%
補修工事	3,202	3,072	4,343	3,684	△ 659	84.8%
その他	1,444	1,470	1,602	1,629	26	101.7%
合計	29,808	32,752	34,977	30,036	△ 4,941	85.9%



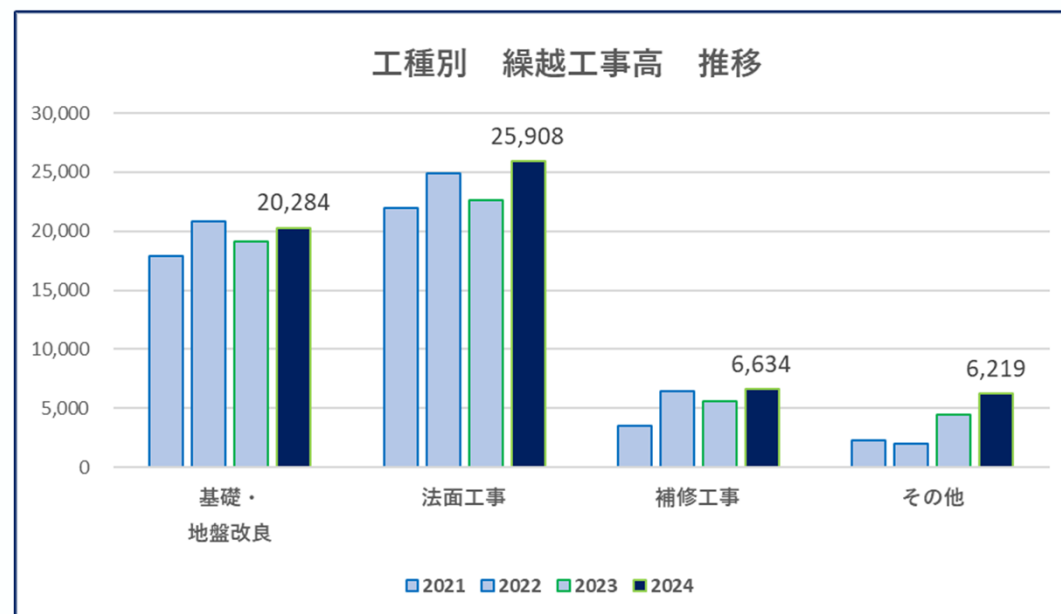
3-③.連結 工種別繰越工事高（単位：百万円）



基礎・地盤改良工事：203億円（前期比106%） 法面工事：259億円（前期比115%）

基礎・地盤改良工事が6%増、法面工事が15%増、その他（海外の大型土木工事など）38%増となり、前期比114%の繰越工事高を確保。

繰越工事高 (連結第2四半期)	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	対前期	
					増減	%
基礎・地盤改良工事	17,918	20,855	19,155	20,284	1,129	106%
法面工事	21,919	24,887	22,582	25,908	3,326	115%
補修工事	3,471	6,453	5,608	6,634	1,025	118%
その他	2,281	1,996	4,509	6,219	1,709	138%
合計	45,589	54,191	51,856	59,048	7,192	114%



4.連結 貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書（単位：百万円）



	2023年 9月期	2024年 3月期	2024年 9月期
流動資産	42,067	42,222	39,128
うち、現金預金	18,604	19,644	20,237
うち、受取手形・完成工事未収入金等	21,495	20,971	16,958
うち、未成工事支出金	515	235	551
固定資産	11,190	12,202	13,083
有形固定資産	6,446	6,598	6,672
無形固定資産	563	557	520
投資その他の資産	4,181	5,046	5,890
資産合計	53,258	54,425	52,212
流動負債	16,577	16,422	14,946
うち、支払手形・工事未払金等	12,598	12,133	10,255
うち、未成工事受入金	595	980	1,647
固定負債	4,060	3,964	4,096
負債合計	20,638	20,387	19,043
純資産の部	32,620	34,038	33,168
負債純資産合計	53,258	54,425	52,212

	2023年 9月期	2024年 3月期	2024年 9月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,191	4,421	2,858
うち、税引前中間（当期）純利益	1,729	4,503	482
うち、減価償却費	363	781	408
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,080	△ 2,288	△ 1,218
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,048	△ 1,965	△ 1,043
うち、配当金の支払い額	△ 1,042	△ 1,958	△ 1,043
現金及び現金同等物残高	18,604	19,644	20,237

5.連結 業績予想（単位：百万円）



連 結	2022 年度 実績	2023 年度 実績	2024 年度 予想	対前年		対前々年	
				差異	%	差異	%
受注高	75,003	73,861	74,000	139	100%	△ 1,003	99%
売上高	72,918	71,880	73,000	1,120	102%	82	100%
完成工事総利益	13,685	12,708	13,800	1,092	109%	115	101%
販売費及び一般管理費	8,233	8,351	8,400	49	101%	167	102%
営業利益	5,451	4,356	5,400	1,044	124%	△ 51	99%
経常利益	5,462	4,397	5,400	1,003	123%	△ 62	99%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,526	3,066	3,600	534	117%	74	102%

通期業績予想については、現段階では、2024年5月9日に公表いたしました数値から修正はありません。今後の受注や業績動向により修正の必要が生じた場合は速やかに開示いたします。下期以降は、更なる受注高確保と利益確保のため施工の促進、原価低減に努めてまいります。

6-①.トピックス（土木賞）



日建連表彰2024「第5回 土木賞」 4件受賞

日特建設は、一般社団法人日本建設業連合会が開催している日建連表彰のうち、2020年度に創設された「土木賞」を、創設以来5年連続で関係者として受賞しています。2024年度は4件受賞しましたので、その受賞工事をご紹介します。



新日下川放水路工事（高知県）
早期通水により浸水被害から地域を守る
国内最長の放水路工事

【担当工事】

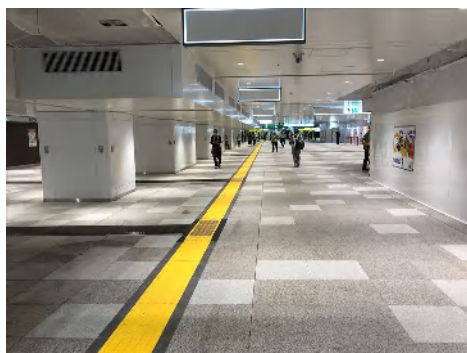
- ・THパイプルーフ工法、推進工
- ・到達側の止水注入（ダブルパッカ）
- ・最底盤をMXグラウトで注入（技術提案）



玉来ダム本体建設工事（大分県）
洪水被害を経験してきた市民に安全・安心を提供する洪水調整専用ダムの建設

【担当工事】

- ・超高透水性層に対する複列カーテングラウチングによる遮水層構築



新宿駅東西自由通路新設他（東京都）
約300万人が利用する世界一のターミナル駅
周辺の回遊性向上

【担当工事】

- ・薬液注入工
- ・推進工



**白川発電所
熊本地震の震災復旧工事**（熊本県）
震源断層などの影響で被災した長距離かつ
狭小な導水路トンネルの復旧と再生

【担当工事】

- ・導水路トンネルの更新、パネル張替
- ・空洞充填（ダブルパッカ）
- ・法面工（法枠工、鉄筋挿入工）

6-②.トピックス（応急災害復旧活動）

神奈川県：国道246号新善波トンネル災害

2024年8月30日（金）に発生した台風10号に伴う豪雨により、神奈川県伊勢原市の国道246号新善波トンネル付近の法面が崩落し、通行止めとなっていました。

横浜国道事務所の応急復旧工事に各社参集して対応した結果、9月9日（月）午前6時に通行止めが解除されました。

当社はその中で、仮設防護（鋼製の土留め壁）および法面応急保護を行いました。



出典：国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所HP
https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000893741.pdf

6-③.トピックス（応急災害復旧活動）

岩手県：釜石自動車道（宮守IC～遠野IC）

2024年8月30日の降雨に伴う法面崩落により釜石自動車道の宮守IC～遠野ICが通行止め（上下線）となっていました。9月20日（金）午前6時に上下線ともに通行止めが解除されました。当社は、応急復旧工事として法面对策工を行いました。



▲応急復旧作業前



▲応急復旧作業状況



▲モルタル吹付状況（日特建設(株) 施工）

出典：国土交通省 東北地方整備局 南三陸沿岸国道事務所HP
https://www.thr.mlit.go.jp/Bumon/kisya/saigai/images/101317_1.pdf

7.イベントのお知らせーNITTOCシンポジウム2024



遠隔・自動施工から描くダムグラウチング・斜面防災工事の未来

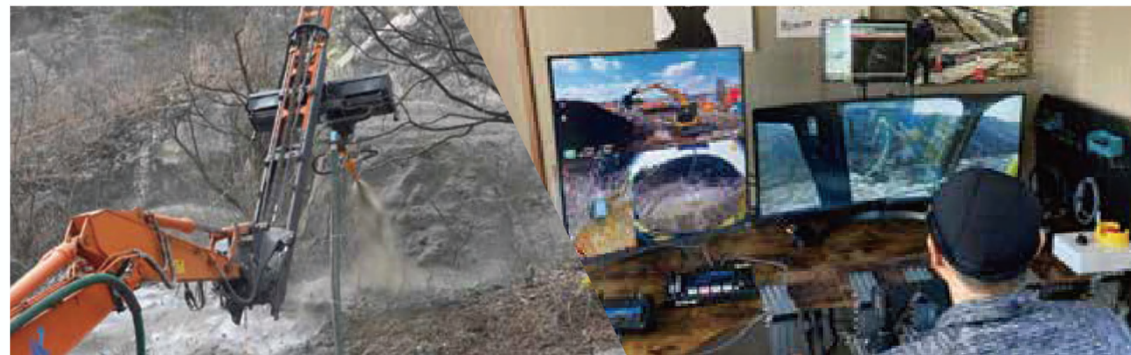
日時

2024年11月21日（木）

13:00 ～ 16:30

（開場 12:45）

昨今、建設業界における大きな課題として、労働力不足、労働環境の改善等が挙げられています。この課題への対応として日特建設が取り組んでいるICTのうち、ダムグラウチングと斜面防災工事の遠隔施工について、実際の映像を交えながらご紹介します。また、北見工業大学 副学長 地域未来デザイン工学科 教授 星野洋平様にご講演いただき、ディスカッションにもご参加いただく予定です。



場所

日特建設株式会社 本店6階 会議室
東京都中央区東日本橋3丁目10-6

参加申込

[こちら](#)をクリックするか、QRコードからお申込みください



その他

- ・詳細は、[HP](#)よりご確認ください
- ・定員：60名（先着順）